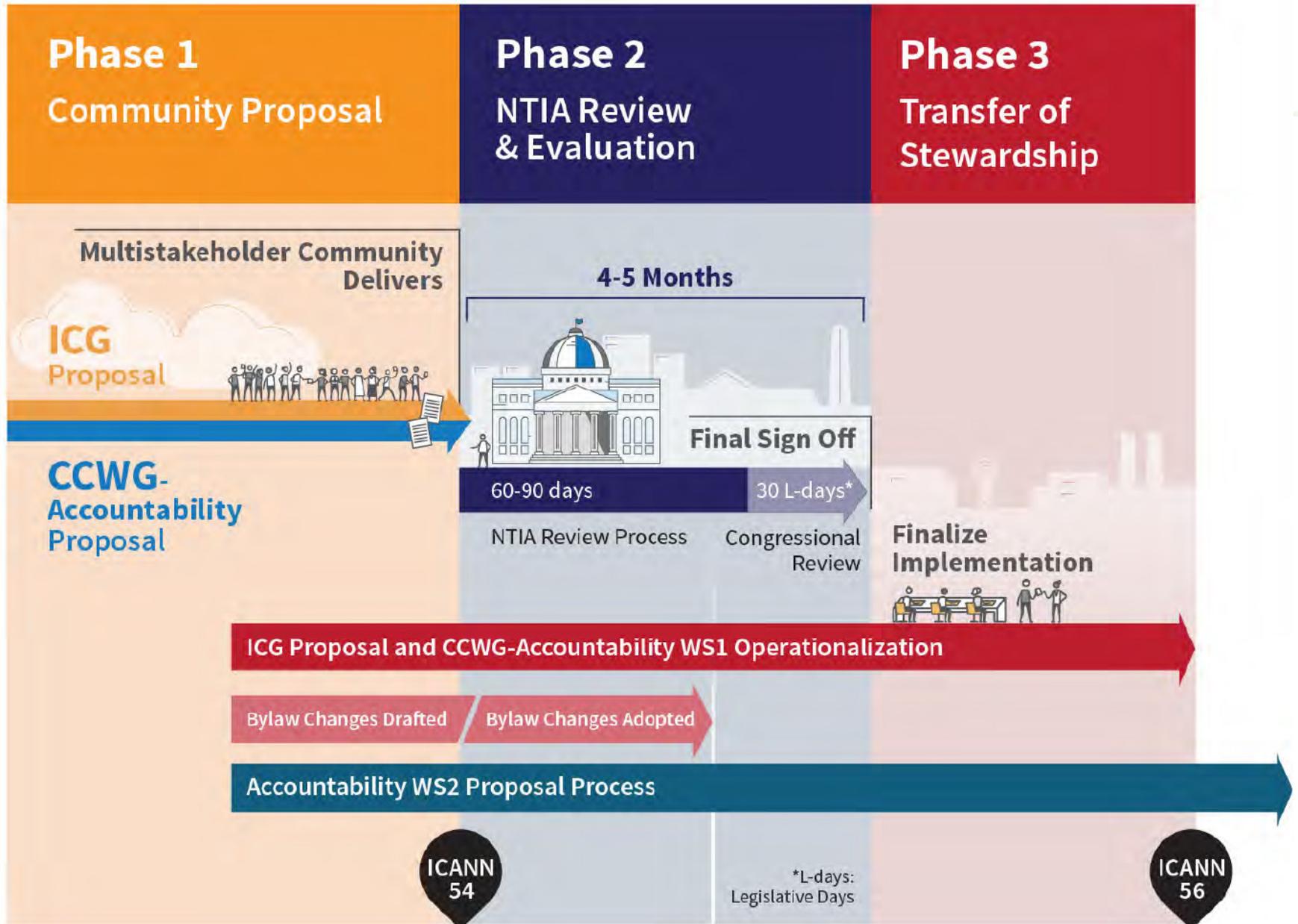


IANA機能の監督権限移管および ICANN Accountabilityについて

2015年7月28日 第43回ICANN報告会

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター
インターネット推進部・IP事業部
奥谷泉





今後米国政府の着目度が上がる可能性

- **これまでの米国政府関連の対応**
 - State of the Net Conference(2015年1月)
 - Government Accountability Office(GAO)による調査報告書(2015年6月公開)
 - 公聴会×3回：ICANN CEO、NTIA長官等が証言
 - 2015年2月(通商・科学・交通委員会：Preserving the Multistakeholder Model of Internet Governance)、
 - 2015年5月(下院法務委員会)、
 - 2015年7月(通信科学議会小委員会：Internet Governance Progress After ICANN 53)
- **2015年11月**
 - 移管プロセスのリーダー達を承認として召集予定

IANA機能監督権限移管と ICANN説明責任の関係性

- **米国NTIAがIANA機能監督権限移管の移行を2014年3月に発表、IANA機能の安定的な運用を含めた諸条件を提示**
- **NTIAは監督権限移管提案と同時にICANN説明責任強化に向けた提案の提出を要請**
 - IANA機能の安定的な運用のためには、その運営母体のICANNが、NTIAの監督権限移管後も十分に説明責任を果たすことを示す
 - 両方が揃わないと移管提案の検討は進まない

ふたつの流れ

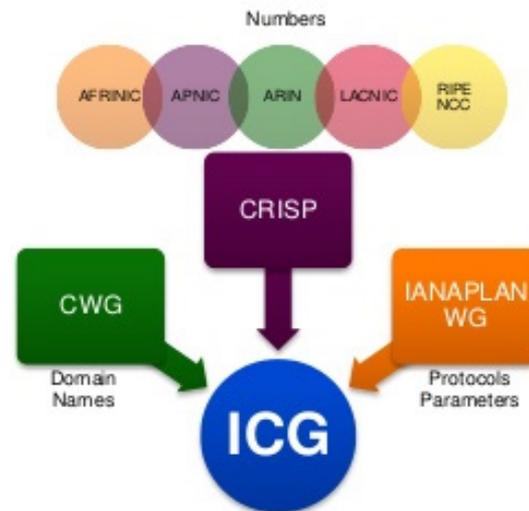
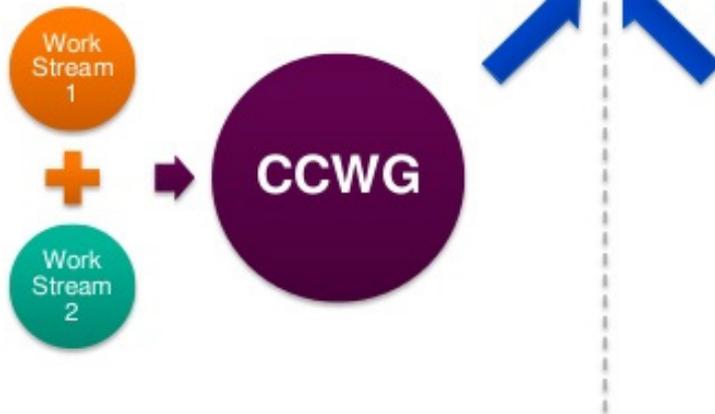


ICANN説明責任強化

Accountability Stream

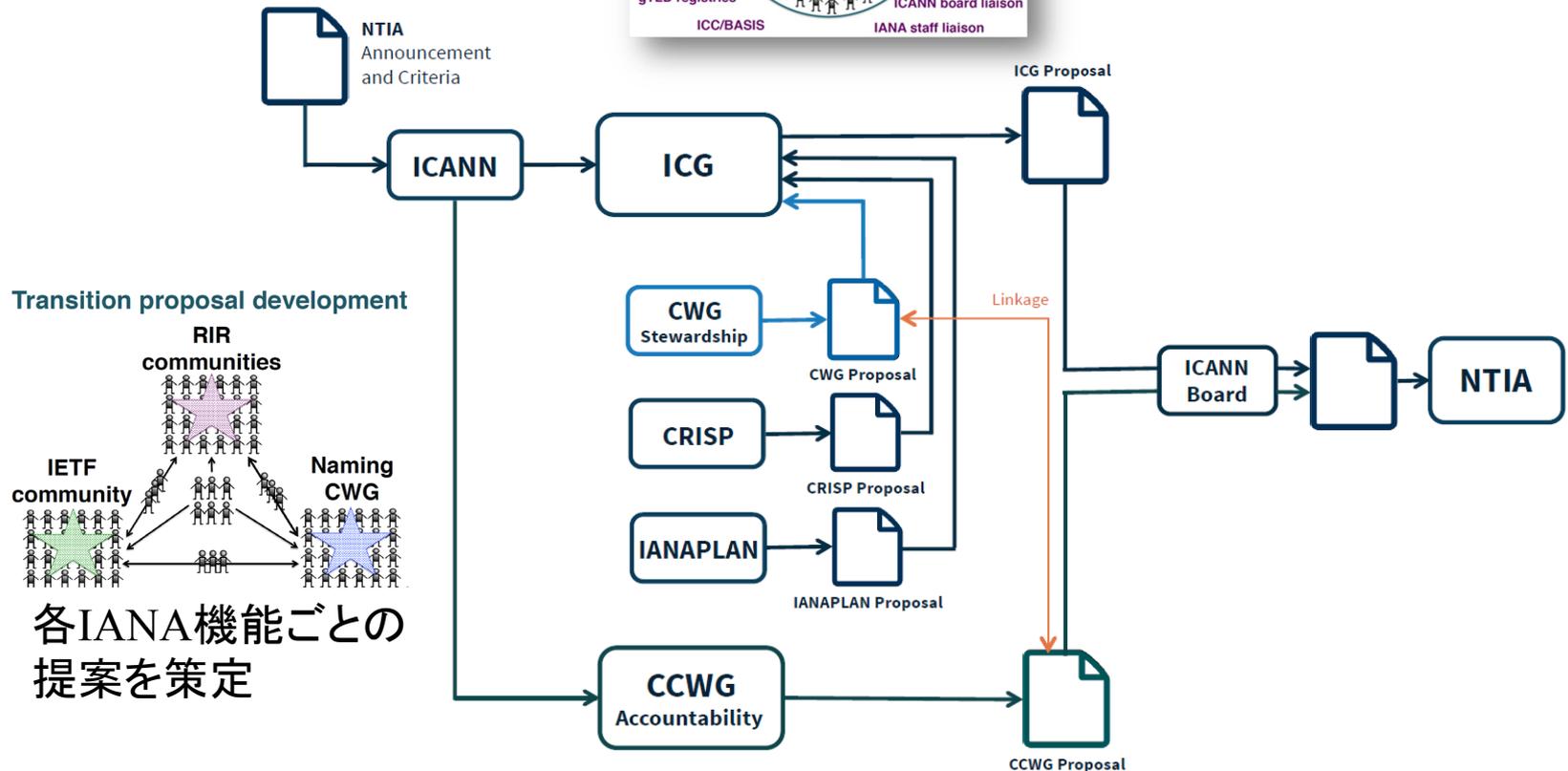
IANA機能の監督権限の移管

Transition Stream



全体プロセス

方針決定・
進捗管理・
提案の統合

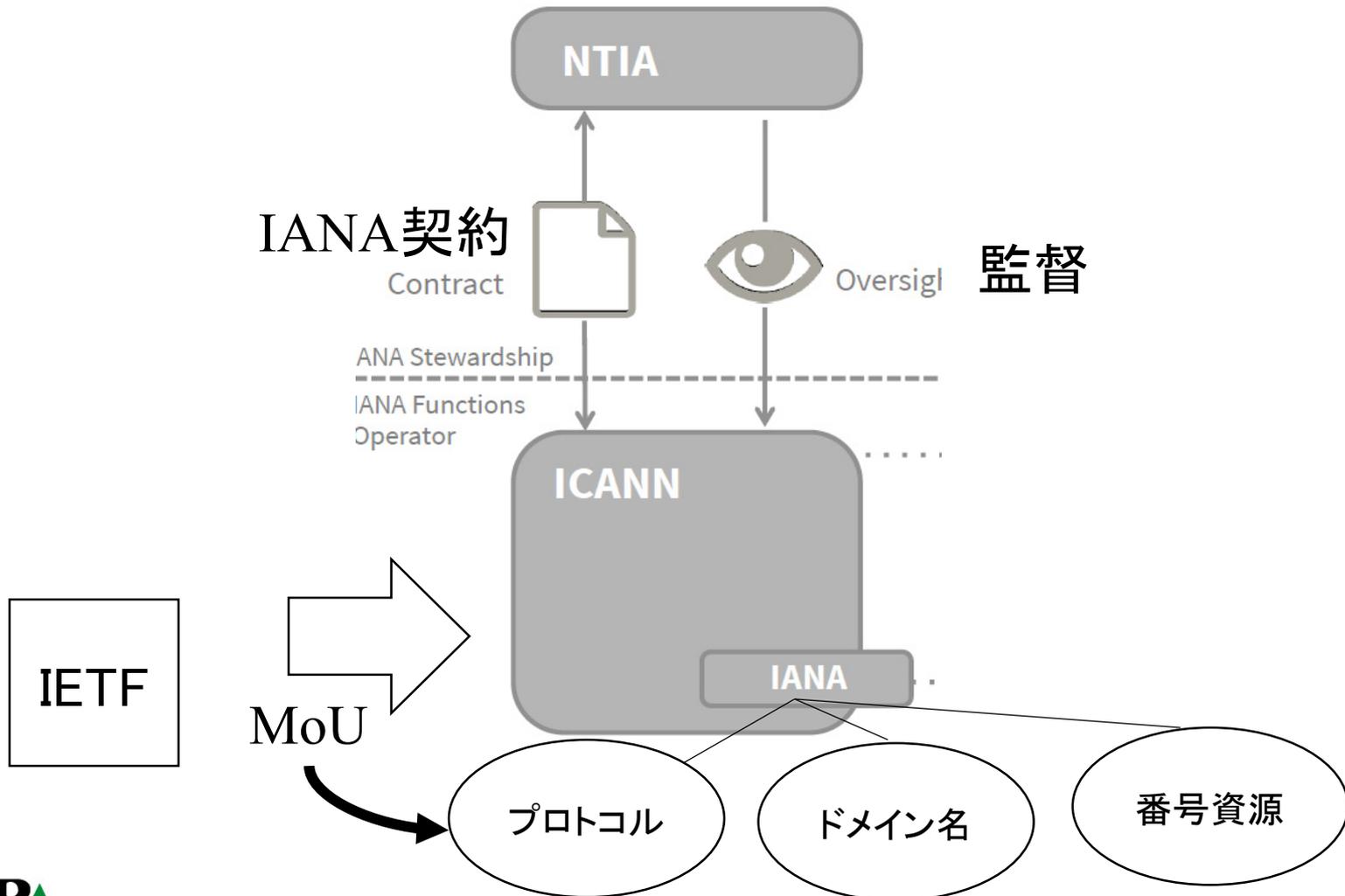


各IANA機能ごとの
提案を策定

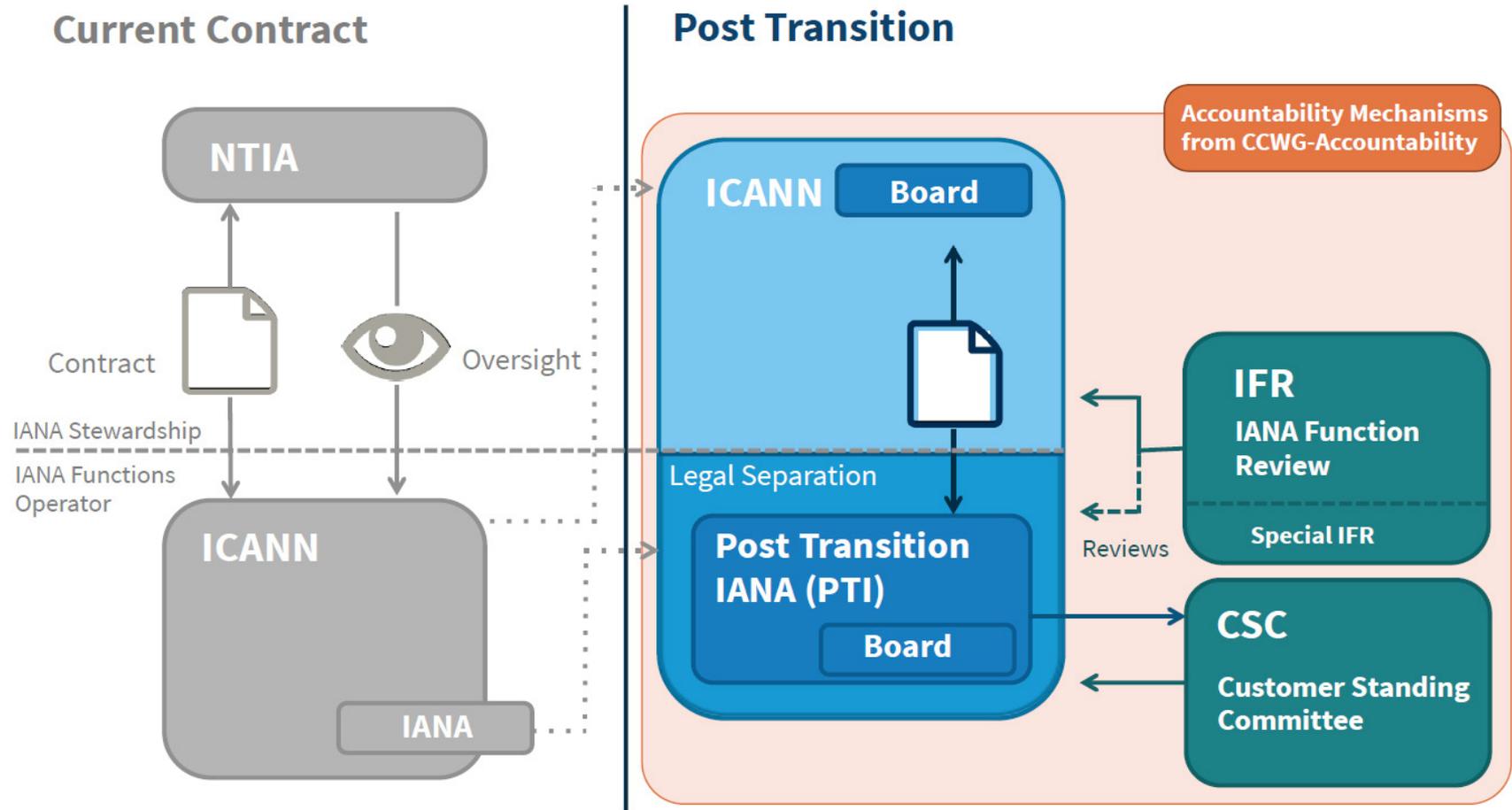
現在のステータス

- **IANA機能の監督権限移管(ICG・各運用コミュニティ)**
 - ドメイン名機能のコミュニティからもICGへ提案が提出され、三つのIANA機能すべてに関する提案が出揃った
 - ICGで3つのIANA機能に関する提案の統合を進める
- **ICANN説明責任の強化(CCWG)**
 - 第1版へのパブコメ、ICANN53での意見集約完了
 - 当初提案していたコミュニティの権限強化モデルはGACをはじめ支持が得られず見直し、第2版に向けて作業
- **どちらも7/31のパブコメ開始に向けて準備中**

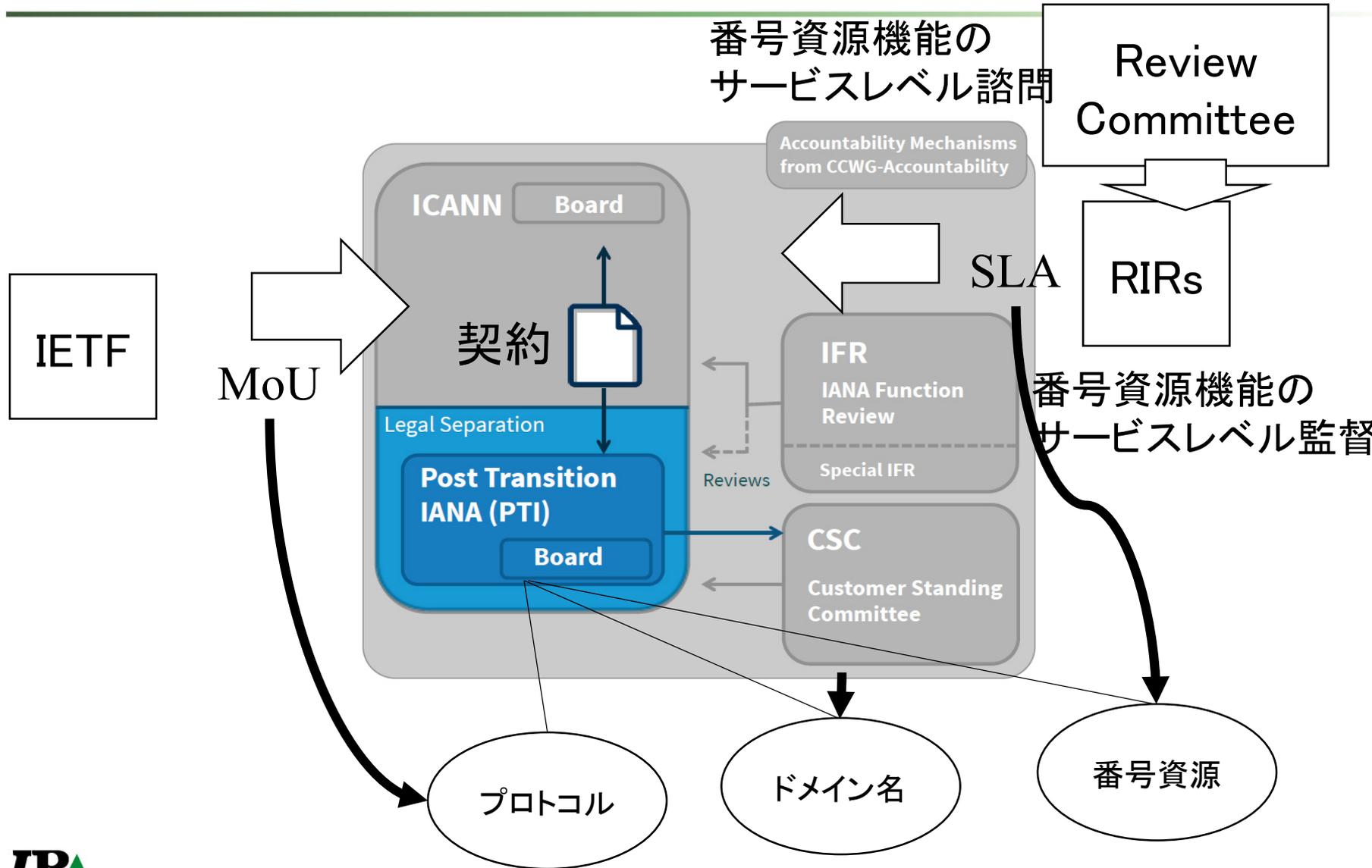
現在のIANA機能とNTIAの関係



名前機能に関する提案



提案後のIANA機能と各関係者



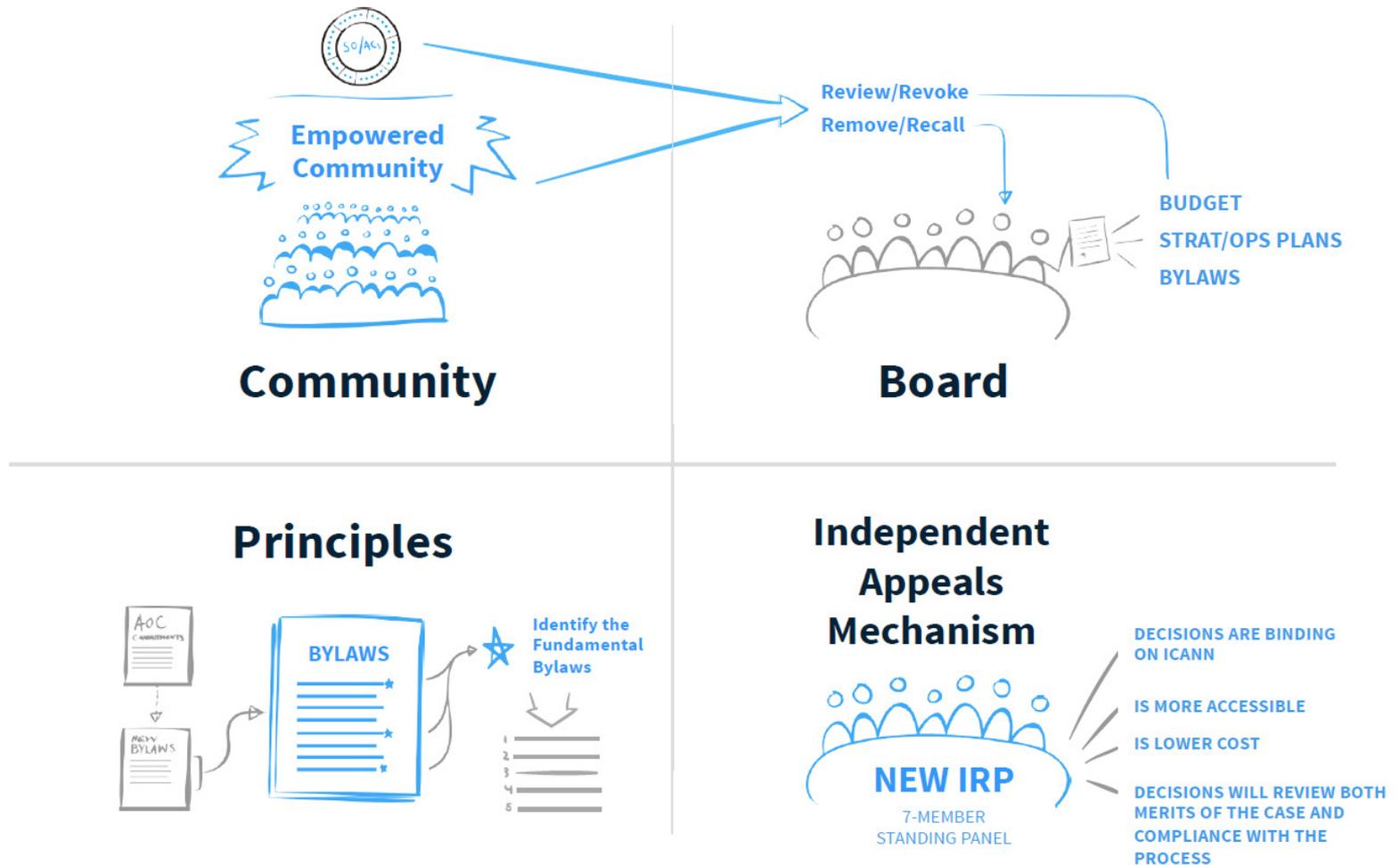
コミュニティ間で調整が必要な事項

- **IRP(知財権)の移管の扱い**
 - IANAトレードマーク、iana.orgのドメイン名
- **番号資源は、IANA運用者ではなく、コミュニティが知財権を持つことを提案**
 - IETF Trustを移管先の選択肢としてあげている
 - プロトコルパラメータもIETF Trustから受け入れ準備があることを発表
- **ドメイン名コミュニティはICGへの提案提出時点では「意見なし」としていたものの、現在他の選択肢も含めて弁護士の分析待ち**
- **ICANN理事会が解釈が曖昧な声明を発表したため真意を確認中**

提案の実装準備

- **プロトコル**：現状維持のため対応なし
- **番号資源**：SLA、ReviewCommitteeの設立
- **名前**：PTIの設立、ICANN-PTI間の契約書、PIT Boardの選定、各種委員会の設立

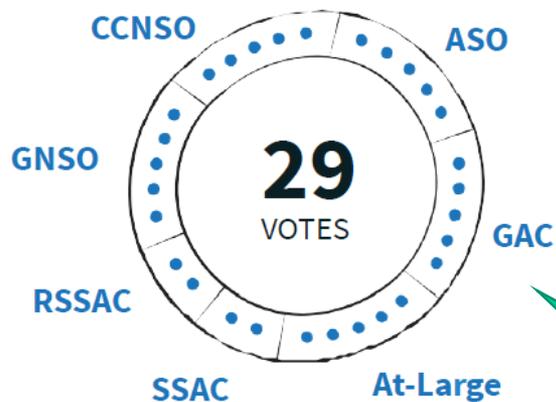
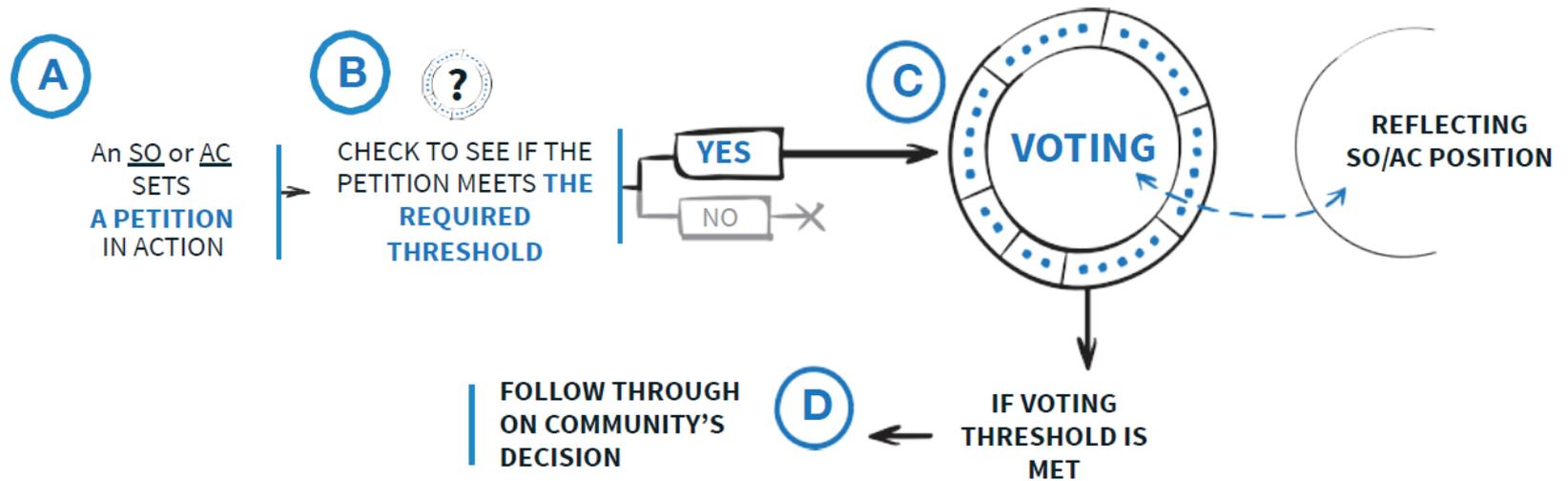
ICANN説明責任強化：強化の要素



コミュニティの権限強化に向けたモデルの選択肢

	Empowered SO/AC Designator Model	Empowered SO/AC Membership Model	Community Mechanism as Sole Member Model
1. Mechanism for each power			
5.2 - Reconsider/reject budget or strategy/operating plan	Indirect	Coordinated (members)	Direct (CMSM)
5.3 - Reconsider/reject changes to ICANN "standard" bylaws	Coordinated (designators)	Coordinated (members)	Direct (CMSM)
5.4 - Approve changes to "fundamental" bylaws	Coordinated (designators)	Coordinated (members)	Direct (CMSM)
5.5 - Appoint & remove individual ICANN directors	Direct (individual designators)	Direct (individual member classes)	Direct (CMSM)
5.6 - Recall entire ICANN board	Coordinated (designators) or Indirect	Coordinated (members) or Indirect	Direct (CMSM)
5.7 - Reconsider/reject board decisions re: IANA reviews	Indirect	Coordinated (members)	Direct (CMSM)

コミュニティの権限強化実行の仕組み



Influence in the Community Mechanism

Each SO and AC has a number of "votes" in the community mechanism, deciding on the powers established for the community

構成見直し
予定

名前機能に関する作業部会から要請を受けた対応事項

1

ICANN Budget

Community rights regarding development and consideration

2

ICANN Board

Community rights, specifically to appoint/remove members, recall entire Board

3

IANA Function Review

Incorporated into the bylaws

4

CSC

Incorporated into the bylaws

5

Independent Review Panel

Should be made applicable to IANA Functions and accessible by TLD managers

6

Fundamental bylaws

All foregoing mechanisms are to be provided for in the bylaws as “fundamental bylaws”

今後の検討ポイント

- **IANA機能の監督権限の移管**
 - 知財以外に争点はなく根幹に関わる相違点はない
 - 名前に関する機能の作業部会の知財への姿勢、実装段階で段階的な移管が認められるのか着目
- **ICANN説明責任強化**
 - コミュニティの権限強化の方法が合意された段階
 - 定款の改定案、各支持組織/諮問機関の投票バランス、訴訟開始のメカニズムなど今後詳細を詰める
 - 本提案提出が遅れることでIANA機能の監督権限の移管時期が遅れないか複数の関係者が着目
- **米国政府が重視すると思われる点**
 - 不確定要素はできるだけ少ないことが望ましい
 - 反米の組織や国に乗っ取られることのない仕組み

日本からの対応

- プロセスとしてマルチステークホルダーをうたっていることから、できるだけ多くの国・立場からインプットがあることは歓迎なはず
- IANA機能の監督権限移管提案はICGで参考質問を準備中
 - 提案の各要素に対してはそれぞれのコミュニティで意見募集済のため、基本的には提案の統合が適切にされているかが中心
- 日本のコミュニティとして意見提出をする場合、早めの調整を推奨